



元気っ子通信

No.57

平成 27 年 1 月 8 日

新年明けましておめでとうございます。

日本はもちろん世界中が異常気象による被害、戦争、金融不安定などたくさんの問題をかかえての年のはじまりとなりました。未来が予測できない今、これからの時代を子ども達には生き抜くたくましさを身につけていってほしいと願っています。

こういうととても大変なことのように思えますが、特別なことをするのではなく、日々の生活の中で習得すべきもの、例えば人の顔を見て話す、ていねいに話す、掃除の仕方、料理を心をこめて作る、食べる時の所作、持ち物を大切に扱う等などきりがなほのこを、子ども達は口で教えられるのではなく、母親の姿から学び身につけて行っているということです。「生きる力」とはこれらを言うのであって、力持ちでも、百点を取ることでありません。恥ずかしくない人として成長することが一番の力であり、自信です。

学童の子ども達と保育園の子ども達の交流もあり、今日も支援センターに遊びに来ている小さい子ども達と自分達が手作りしたはねつき、剣玉、かるたで遊んであげていました。年齢のちがう人達との出会いも大切な経験です。いつも同じ人とではなく立場の違う人に関わって考え方、生き方を学ぶというのは大きな意味を持ちます。



日々の生活をたいせつにていねいに過ごしましょう。そうすることで子どもにたくさんの夢や希望が育ちます。前をしっかり見て目標をつかんでほしいものです。

いつも同じ事を言っているようですが、時代が変わっても大切なことは変わりません。

以 上

